

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 509

事業名	犬猫処理事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	市民生活部	生活環境課		款	衛生費・4款
電話	0799 - 43 - 5024			項	保健衛生費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務		目	環境美化対策費・6目	
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱		法的根拠 (法令、条例、要綱等)		
	まちづくりの目標		安らぎづくり_元気あふれ_住んで快適なまちづくり_		
	施策目標		子どもを産みたい_育てたいまち(子育て)		
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	市内全域		対象人数(人)	53,374	
	目的	意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 国道・県道・市道での野良猫等の小動物の死体及び飼い犬等の死体を回収し、環境衛生の保全を図る。				
	実施内容	(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 道路等の小動物の死骸を現場にて回収し、処分場へ搬入する。又、飼い犬等の死体については、各総合窓口にて持参願ひ処分している。				
	背景	(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 道路等の小動物死体については、環境衛生上また、交通安全上支障のないよう早急な対応が必要である。				
	事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他	()		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成	年度	~	平成	年度	<input type="checkbox"/> 設定なし
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input checked="" type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧三原町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から					

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	小動物(犬・猫)の死体処理				指標単位 式
	指標説明 (指標算出方法等)	市内(国道28号・県道・市道及び飼犬・飼猫)の死体処理				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	1	1	1	1	
	実績値	1	1	1		
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0		
目標値設定の考え方	犬猫処理委託1.0式					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	小動物(犬・猫)の死体処理				指標単位 式
	指標説明 (指標算出方法等)	市内(国道28号・県道・市道及び飼犬・飼猫)の死体処理				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	1	1	1	1	
	実績値	1	1	1		
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	
目標値設定の考え方	犬猫処理委託1.0式					
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	犬猫処理委託料		1,180	1,430	1,760	1,750
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他				875	785
	一般財源[A]		1,180	1,430	885	965
	人件費(正規職員)[B] (千円)		0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)		30.7	29.9	30.1	30.1
	事業量1(事業に要した日数)					
	事業量2(事業に要した人数)					
	年間経費([A]+[B])		1,180	1,430	885	965
	「目的」対象人数1人当り経費 (千円)		0.0	0.0	0.0	0.0
受益者人数(53,318)1人当り経費(千円)		0.0	0.0	0.0	0.0	
経費に関する補足説明	平成18年度はシルバー委託1,926円×742件、平成19年度・歳入と支出は補正が必要。平成19年度の歳入541,800円(2,100円×258匹)、平成20年度の歳入予定840千円、(県道200+国道50+飼犬150)×2,100円=840千円 件数は少なく見積もっています。平成19年度から道路上のイノシシ・鹿の処理費が必要です。					

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	100.0	0.0	
(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 平成18年度の小動物死体処理依頼件数は742件であり、生活環境課職員も12ヶ月で150件以上は運搬している。							5
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		%	100.0	100.0	100.0	-	
	成果向上率	%	-	0.0	0.0	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 道路等の環境衛生及び交通安全を考慮し、迅速適切な対応をしている。							5
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	自己評価 (5点評価)
		千円	1,180.0	1,430.0	885.0	-	
	効率性増減率	%	-	21.2	38.1	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 平成19年度から国道28号からの搬入小動物死体は、国から1件当たり2,100円受領している。県道については、市が回収し、6ヶ月毎に県に対して請求して振り込みしてもらう予定。							5
必要性	公共性の高低	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低					自己評価 (5点評価)
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 環境衛生面と交通事故防止の観点から回収している。						
5							
総合評価	自己評価をふまえた現状分析		<div data-bbox="821 1473 1388 2031" data-label="Figure"> <p>評価グラフ</p> </div>				
	飼犬・飼猫及び道路上での小動物の死骸回収については、環境衛生面及び交通安全に支障をきたさないよう迅速に処理している。						

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し
	今後とも環境衛生面と交通事故防止の観点から迅速に処理する必要がある。	県道については、国道と同様の手法をとることが望まれる。
(現状維持以外の改善方法)		県道については、平成20年度中に再協議し平成21年度から三原庁舎に持ち込んでいただく。
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
		県道分を持ち込むことにより、シルバーへの委託が減り節約できる。
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 1.道路で小動物の死体を避けて反対車線等に飛び出し交通事故の多発。 2.小動物の死体に八エがたかり衛生面で不潔。	